

日本教育方法学会

第19回大会プログラム

《大会日程》

| | | | | | |
|------------------|-------|----------------|--------------|---------------|--------------|
| 第1日 (10月1日・土) | 9:30 | 課題研究 I | | 課題研究 II | |
| | 11:30 | 休 | | 憩 | |
| | 1:00 | 課題研究 III | | 課題研究 IV | |
| | 3:00 | 休 | | 憩 | |
| | 3:10 | 自由研究発表 I | 自由研究発表 II | 自由研究発表 III | 自由研究発表 IV |
| | 5:00 | 休 | | 憩 | |
| | 5:10 | 総 | | 会 | |
| | 5:50 | 会員懇親会 (6:00より) | | | |

| | | | | | |
|------------------|-------|-------------|--------------|---------------|----------------|
| 第2日 (10月2日・日) | 9:00 | 自由研究発表 V | 自由研究発表 VI | 自由研究発表 VII | 自由研究発表 VIII |
| | 12:30 | 休 | | 憩 | |
| | 1:30 | シンポジウム | | | |
| | 4:00 | | | | |

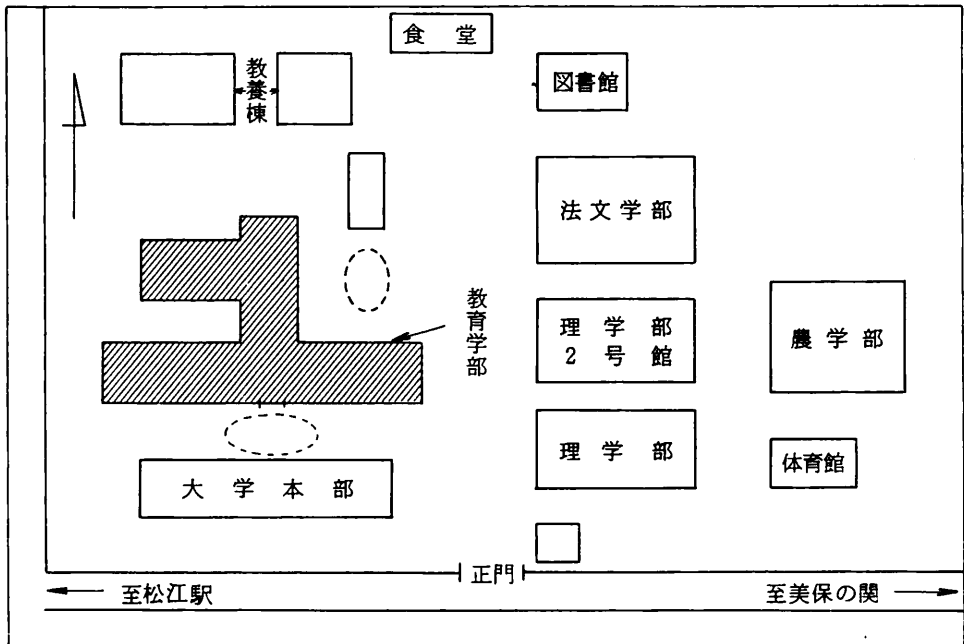
1983年10月1日(土)・2日(日)

於 島根大学教育学部

大会参加要領

1. 受付 : 大会第一日午前9時, 第二日午前8時30分から会場入口にておこないます。
2. 学会費 : 58年度学会費は, 一般会員2,500円, 学生会員1,500円です。
(未納の方は当日受付にてお納めください。)
3. 大会費 : ① 大会参加費(一般会員500円, 学生会員300円)
② 発表要旨集録代(実費700円予定)は別途徴収いたします。
4. 昼食について : 昼食は学内食堂か, 大学近辺の店をご利用ください。
5. 大会当日連絡先 : 〒690 松江市西川津町1060
島根大学教育学部(501 演習室)
電話 0852-21-7100
6. 交通 : 国鉄松江駅より①「大学川津行」市営バスで約30分, ②タクシーで約15分

島根大学教育学部付近略図



10月1日(土) 午前

課題研究Ⅰ <近代教育方法思想の再検討—生活教育の思想を中心に—> (45号教室)

| | | | |
|-------|-----|--------|-------|
| 9:30 | 司会者 | 光華女子大学 | 蜂屋 慶 |
| } | | 埼玉大学 | 川合 章 |
| 11:30 | 提案者 | 成城大学 | 磯田 一雄 |
| | | 埼玉大学 | 川口 幸宏 |
| | | 創価大学 | 柳 久雄 |

課題研究Ⅱ <教師教育のための教育内容・方法の検討

—今求められている教師の力量をどう養成するか—> (46号教室)

| | | | |
|-------|-----|--------|-------|
| 9:30 | 司会者 | 甲南女子大学 | 扇谷 尚 |
| } | | 神戸大学 | 杉山 明男 |
| 11:30 | 提案者 | 愛知教育大学 | 霜田 一敏 |
| | | 国学院大学 | 竹内 常一 |
| | | 大阪大学 | 水越 敏行 |

10月1日(土) 午後

課題研究Ⅲ <戦後教育実践史における子ども観の変遷—> (46号教室)

| | | | |
|------|-----|---------|-------|
| 1:00 | 司会者 | 関西外国語大学 | 佐伯 正一 |
| } | | 大阪市立大学 | 豊田 久亀 |
| 3:00 | 提案者 | 琉球大学 | 藤原 幸男 |
| | | 茗溪学園 | 大西 忠治 |
| | | 鹿児島大学 | 碓井 岑夫 |

課題研究Ⅳ <学力保障の教育課題—> (第45号教室)

| | | | |
|------|-----|--------|-------|
| 1:00 | 司会者 | 早稲田大学 | 大槻 健 |
| } | | 名古屋大学 | 三枝 孝弘 |
| 3:00 | 提案者 | 福岡教育大学 | 高田 清 |
| | | 名古屋大学 | 日比 裕 |
| | | 大阪教育大学 | 木下 繁弥 |

10月1日(土) 午後

自由研究発表Ⅰ (42号教室)

司会者 千葉大学 岩垣 攝
大阪大学 水越 敏行

3:10 生活指導論に関する一考察

近畿大学附属高等学校 堀切 勝之

3:30 教師の創造性と授業プログラミングの問題

教育実践研究所「K教育スタジオ」 中村 圭吾

3:50 現職教育システムの開発に関する基礎的研究

—大阪府下における理科学習指導上の困難点についての分析から—

○大阪府科学教育センター 三宅 正太郎

○大阪府教育研究所 楯本 廣幸

<質疑応答(4:30~5:00)>

自由研究発表Ⅱ (44号教室)

司会者 金沢大学 諸岡 康哉
仏教大学 長岡 文雄

3:10 発見を重視する授業の実証的研究

兵庫教育大学大学院 井上 正允

3:30 授業設計過程における教師の意思決定

鳴門教育大学 吉崎 静夫

3:50 現場的授業設計技法の開発

○金沢大学 吉田 貞介

○石川県教育センター 押野 市男

<質疑応答(4:30~5:00)>

総 会

第1日(10月1日), 5:10~5:50 教育学部43号教室で
おこないます。

10月1日(土) 午後

自由研究発表Ⅲ (45号教室)

司会者 大分大学 三原征次
大阪教育大学 井谷善則

3:10 障害乳幼児の治療教育における方法論の検討

—感覚教育を中心に—

霧島女子短期大学 黒川久美

3:30 人間教育学としての障害児保育論研究

彰栄保育専門学校 八巻正治

3:50 軽・中度知能障害児教育における生活主義教育について

筑波大学附属大塚養護学校 稲吉千代

4:10 児童生徒の学習に対する自己有能感の発達に関する検討

琉球大学 石川清治

<質疑応答(4:30~5:00)>

自由研究発表Ⅳ (46号教室)

司会者 広島大学 伊東亮三
香川大学 笹本正樹

3:10 F. A. W. ディースターヴェークの教授方法観

—陶冶と訓育を結合した授業をめざして—

大阪市立大学大学院 大家孝雄

3:30 賞罰の位置と役割

広島大学大学院 黒田耕司

3:50 シュプランガー教育学における方法原理の基盤

関西学院大学大学院 長尾和英

4:10 家庭科カリキュラムの構成原理に関する一考察

—わが国の学習指導要領と『家政教育のシラバス』(N・Y州)の

比較検討を手がかりとして—

広島大学研究生 山田綾

<質疑応答(4:30~5:00)>

会員懇親会のご案内

第1日(10月1日), 総会終了後6:00よりおこないます。多数のご参加をお願いします。
なお会費は2,000円程度です。(場所については当日お知らせします。)

10月2日(日) 午前

自由研究発表V (42号教室)

- | | | | |
|------|----------------------------|-------------------|-------|
| | 司会者 | 広島女子大学 | 石川正和 |
| | | 福岡教育大学 | 田代高英 |
| 9:00 | 保育指導案の書き方 | | |
| | | —自らの保育を問い直すために— | |
| | | 鹿児島短期大学 | 土屋文明 |
| 9:20 | ごっこ遊び指導の構造と方法について | | |
| | | 白梅学園短期大学 | 山口寛子 |
| 9:40 | 幼児の自然認識を育てる教材としての幼児放送番組の評価 | | |
| | | —「みんなのせかい」を事例にして— | |
| | | 「幼児放送教育研究会」 | |
| | | 東京学芸大学 | 小川博久 |
| | | 東京学芸大学 | 井口太 |
| | | ○東京学芸大学 | 小笠原喜康 |
| | | 東京学芸大学 | 栗原泰子 |
| | | ○東京学芸大学大学院 | 斉藤信 |

<質疑応答(10:20~10:50)>

- | | | | |
|-------|---------------------|-------------|------|
| 11:00 | 思考生理学樹立の提案 | | |
| | | 元日本体育大学 | 星野春雄 |
| 11:20 | 2往復コミュニケーションによる授業改善 | | |
| | | ○武蔵野市立第二小学校 | 加藤好男 |
| | | ○府中市立四谷小学校 | 根本勝 |

<質疑応答(12:00~12:30)>

10月2日(日) 午前

自由研究発表Ⅵ(44号教室)

司会者 新潟大学 阿部好策

大阪教育大学 木下繁弥

9:00 子どもの概念枠組と理科カリキュラム

—重さの保存を中心に—

大阪大学大学院 角田尚子

9:20 新教育課程の改善のねらいに即した農業教科の教育方法の検討

宮城県立小牛田農林高等学校 千葉浩三

9:40 木下竹二の学習法開拓と教師教育(3)

仏教大学 長岡文雄

<質疑応答(10:00~10:30)>

11:00 教科指導におけるアメニティーの探究

横浜市立大学 大庭茂美

11:20 理科評価方法の実証的研究

—6年単元「てこ」を通して—

○愛知教育大学 川上昭吾

○愛知教育大学 小寺康文

瀬戸市立萩山小学校 後藤鏡子

<質疑応答(12:00~12:30)>

自由研究発表Ⅶ (45号教室)

- 司会者 岡山大学 宮坂義彦
九州大学 中村亨
- 9:00 人格形成過程から見た授業分析に関する一考察
兵庫教育大学大学院 毛利直巳
- 9:20 教授-学習過程における学習活動の形成に関する一考察
九州大学大学院 園田貴章
- 9:40 授業記録・授業録画からの授業諸要因の抽出とその関連構造の検討
-「授業諸要因の制御に関する比較教授学的実験研究」より-
名古屋大学 三枝孝弘
○名古屋大学 日比裕
岐阜大学 的場正美
名古屋大学大学院 井深淳子
○名古屋大学大学院 石川英志
○名古屋大学大学院 大島聡

<質疑応答(10:20~10:50)>

- 11:00 「カルテ」の思想
-教育方法の視点から-
カリタス女子短期大学 武藤文夫
- 11:20 合科・総合学習の授業評価
-合科と教科別の授業の比較分析を中心に-
大阪大学 水越敏行
○大阪大学 村川雅弘
○大阪大学大学院 浅田匡

<質疑応答(12:00~12:30)>

10月2日(日) 午前

自由研究発表Ⅷ (46号教室)

司会者 山 口 大 学 外 山 英 昭
大 阪 市 立 大 学 佐 藤 三 郎

9:00 文学教材の指導過程の実証的研究(その1)

—発問構成に関する考察—

○神戸大学大学院 藤原 顕
○神戸大学大学院 松崎 正治
○神戸大学大学院 南野 起一

9:40 小学校の教育課程と授業に関する調査

—教師の意識調査—

○創 価 大 学 高 野 兼 吉
創 価 大 学 沢 田 慶 輔
創 価 大 学 熊 谷 一 乘
創 価 大 学 阿 部 謙 一
創 価 大 学 望 月 久 貴
創 価 大 学 砂 沢 喜 代 次

<質疑応答(10:20~10:50)>

11:00 アメリカ中等教育における教育課程編成の問題点

大阪市立大学大学院 矢野 裕 俊

11:20 アメリカ歴史協会の新8人委員会報告書の考察

福 井 大 学 安 藤 輝 次

11:40 第二次世界大戦後のアメリカ社会科における「科学」の導入過程(その3)

神 戸 大 学 佐 藤 年 明

<質疑応答(12:00~12:30)>

10月2日(日) 午後

シンポジウム<荒れる学校状況とその克服の視点> (43号教室)

| | | | |
|------|-----|----------|------|
| 1:30 | 司会者 | 元上智大学 | 近藤正樹 |
| | | 国立教育研究所 | 藤田昌士 |
| 4:00 | 提案者 | 新見女子短期大学 | 兼原昭徳 |
| | | 神戸大学 | 斎藤浩志 |
| | | 愛知県立大学 | 山田正敏 |
| | | 東京家政大学 | 増田 實 |

日本教育方法学会刊行書籍

| | |
|-------------------------------|-----------|
| 教育方法 1. 教科内容・指導方法の現代化 | 1966 (品切) |
| 教育方法 2. 授業改造の基本問題 | 1968 |
| 教育方法 3. 授業の組織化と教師の指導性 | 1969 (品切) |
| 教育方法 4. 学力差と教授・学習過程 | 1970 (品切) |
| 教育方法 5. 教育方法学 '70年代の課題 | 1972 (品切) |
| 教育方法 6. 授業研究の課題と方法 | 1974 |
| 教育方法 7. 現代学校教育論の再検討 | 1975 |
| 教育方法 8. 教育課程再編の原則 | 1976 |
| 教育方法 9. 現化訓育理論の探究 | 1977 |
| 教育方法10. 学力の構造と教育評価のあり方 | 1979 |
| 教育方法11. 現代授業理論の争点と教授学 | 1980 |
| 教育方法12. 学級教授論と総合学習の探究 | 1983 |
| 教育方法13. 今日の教育危機をめぐる教授学的課題(仮題) | 1984 刊行予定 |

明治図書 〒104 東京都中央区入船3の3の11

TEL 03-551-8266~8

◎当日、受付にて販売いたします。

《新刊》教育方法12.「学級教授論と総合学習の探究」

- 内容 I. 80年代学級論の課題と教育課程改革の動向
II. 授業過程における個別化と集団化
III. 総合学習の史的検討

教育方法13.「今日の教育危機をめぐる教授学的課題」(仮題)

- 内容 I. 「荒れる」学校状況とその克服の視点
II. 戦後教育実践史における子ども観の変遷
III. 授業における子どもと生活と科学
IV. 今なぜ道德教育なのか——その現状と課題